５月１１日（水）　今日は、６年生の授業の様子を紹介します

今月、６年生は、国語「討論会をしよう」を学習しています。

それは、１つのことをテーマに肯定と否定のグループに分かれて討論を行い、司会や判定もすべての子どもたちで行う全員参加型の討論会（ディベート）です。

先週の国語では、自分の意見をノートにまとめたり、根拠となる情報をタブレットで調べたり、声に出して司会や発表の練習をしたり、周りの友達と意見を共有し、自身の考えを深めたり……。

一人ひとりが思い思いに学習している姿に感動し、「未来型の授業ですね。」と、思わず担任の先生に声をかけてしまいました。すると、「自主学習として、自分の意見の根拠となるものを調べてきた子たちや、想定される質問とその答えを考えてきた子たちもいるのです！」と、嬉しそうに自学ノートも見せてくださいました。自ら学びに向かう、とても立派な姿勢ですね。さすが、６年生！

今日は、第２回目の討論会で、『動物園にいる動物は、自然にいる動物より幸せか？』がテーマでした。最終のまとめでは、「動物園にいる動物は、毎日安心して食べ物も食べられ、飼育員さんといい関係ができればストレスもなく、幸せである」と考えた肯定派グループ。「自然の中にいる動物は、広々したところで親や兄弟など家族と一緒に暮らせて幸せだ」と考えた否定派グループ。どちらも相手の主張の長所を認めた上で、自分たちの考えやその根拠を主張していくといった素晴らしい討論ができていました。判定を担当したグループは、「なるほど、なるほど」と頷きながらそれぞれの意見を聞き、悩みながらも根拠を持ってジャッジをしていました。さらに、司会グループの落ち着いた進行のおかげで、最後までスムーズに討論ができ、とてもよかったです。

１～５年生の皆さんも６年生になると、こんな素敵な学習ができるようになりますよ。楽しみですね。

皆で意見を交流し終え、各自で深めています

タブレットで情報を集めています

ホワイトボードで意見を整理しています

いよいよ、ジャッジの発表です！